

# 西宮市財政事情

令和2年度上半期

令和2年9月1日現在

人 口 487,455人  
世帯数 217,580世帯  
面 積 100.18km<sup>2</sup>

地方自治法第243条の3第1項の規定に基づく「財政事情の公表に関する条例」の定めるところにより、令和2年度上半期（令和元年4月1日から令和2年9月30日まで）の本市の財政事情及び令和元年度の決算概要を次のとおり公表します。

## 1. 令和2年度上半期の状況

### (1) 予算額、収入及び支出の状況

令和2年9月30日現在における予算現額、収入及び支出の状況は、第1表及び第2表のとおりです。

予算現額では、一般会計は2,540億4,181万円、特別会計は886億9,968万円、両会計の合計額は3,427億4,149万円となっており、当初予算と比べ610億1,927万円の増となっていますが、この中には、前年度からの繰越分37億9,512万円が含まれているため、実質的には572億2,415万円を増額補正したことになります。

一般会計における歳出の補正の主なものとしては、総務費502億1,253万円、民生費29億9,156万円、教育費15億9,223万円、商工費12億8,560万円、衛生費6億7,409万円、土木費3億2,808万円などを増額しています。歳入では、国庫支出金511億551万円、繰入金52億1,644万円、県支出金5億5,568万円、市債2億4,070万円などを増額しています。また、特別会計では国民健康保険3,107万円、介護保険1,882万円などを増額しています。

予算に対する収入及び支出の状況については、一般会計の収入では、国庫支出金が630億7,774万円（執行率73.0%）、市税が505億2,825万円（執行率57.6%）、地方消費税交付金が53億4,570万円（執行率54.0%）、使用料及び手数料が27億6,719万円（執行率40.8%）、地方交付税が19億7,909万円（執行率100.0%）などとなっています。なお、繰越金は前年度からの決算剰余金を収入したため、12億8,649万円（執行率186.8%）の収入となっています。また、支出では、総務費が575億2,518万円（執行率78.5%）、民生費が326億4,247万円（執行率35.5%）、教育費が89億4,263万円（執行率31.1%）などとなっています。

特別会計の状況については、介護保険が収入141億1,125万円（執行率40.6%）・支出140億9,805万円（執行率40.6%）、国民健康保険が収入136億2,630万円（執行率30.8%）・支出130億5,566万円（執行率29.5%）、後期高齢者医療事業が収入30億7,358万円（執行率39.4%）・支出26億4,032万円（執行率33.9%）などとなっています。

### (2) 公営企業の業務状況

病院事業、水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の業務状況は、別途公表のとおりです。

### (3) 市債、公有財産及び一時借入金等の状況

市債、公有財産及び一時借入金等の状況は、第3表のとおりです。

## 2. 令和元年度決算概要について

令和元年度決算概要は、一般会計では、歳入が1,763億6,552万円に対し、歳出は1,750億9,137万円で、差し引き12億7,415万円の剰余となりましたが、繰越事業費37億9,209万円の充当財源として、6億7,622万円を翌年度に繰越しているため、実質的には5億9,793万円の黒字となっています。(第4表参照)

歳入の主なものは、市税876億3,899万円(構成率49.7%)、国庫支出金308億5,637万円(構成率17.5%)、県支出金110億9,363万円(構成率6.3%)です。歳出の主なものは、民生費803億9,900万円(構成率45.9%)、教育費217億3,186万円(構成率12.4%)、総務費181億3,815万円(構成率10.4%)です。(第5表参照)

一般会計の歳出を性質別に見ると、人件費などの消費的経費が1,297億7,661万円(構成率74.1%)、学校や市営住宅などの公共施設の整備・改修である投資的経費が153億6,224万円(構成率8.8%)、その他経費が299億5,251万円(構成率17.1%)となっています。(第7表参照)

一般会計の歳出決算額を市民一人あたりに換算すると、35万9,679円となります。また、同様に市税収入を市民一人あたりに換算すると、18万31円となります。(第8表参照)

次に特別会計については、10会計合計で、歳入885億2,990万円に対し、歳出871億4,778万円で、差し引き13億8,212万円の剰余となりましたが、繰越事業費303万円の充当財源として同額を翌年度に繰越しているため、実質的には13億7,909万円の黒字となっています。(第4表参照)

令和元年度は、「第5次西宮市総合計画」の初年度であり、保育所等の待機児童対策や公共施設の老朽化対策などを実施しました。

一般会計の歳入では、根幹となる市税収入は、家屋の新增築などにより固定資産税が増となりましたが、その影響などにより地方交付税は減となりました。このほか、収支不足に対する財政基金の取崩しにより、総額で前年度に比べ27億638万円の増額となりました。

歳出については、香櫨園小学校教育環境整備事業費の進捗などにより教育費が増となったほか、幼児教育・保育の無償化の実施による児童保育費の増などにより民生費が増となったため、総額で前年度に比べ24億1,602万円の増額となりました。

今後は、高齢化の進展に伴い介護にかかる経費の増加が見込まれることや、待機児童の解消等、子育て支援にかかる経費の増加など、社会保障関係経費の増大が想定され、学校をはじめとする公共施設の老朽化に伴う改修や更新にかかる経費の大幅な増加も見込まれています。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、感染拡大防止・医療体制強化などにかかる財政支出も見込まれます。

このように、歳出については今後増加していくことが想定される一方で、歳入については、市税は大幅な減収が予想され、地方交付税等も含め財源確保が厳しくなると想定されます。将来にわたって安定的な財政運営が行えるよう、施策等の一層の見直しを図り、必要な財源確保に努めていきます。

第1表

令和2年度 一般会計予算とその執行状況

令和2年9月30日現在

(単位:円)

科目	歳入				収入済額 B	執行率 B/A (%)
	予算額			構成率 (%)		
	当初予算額	補正額	予算現額 A			
市税	87,773,741,000	0	87,773,741,000	34.5	50,528,248,419	57.6
地方譲与税	861,201,000	0	861,201,000	0.3	251,340,827	29.2
利子割交付金	96,000,000	0	96,000,000	0.0	43,801,000	45.6
配当割交付金	661,000,000	0	661,000,000	0.3	184,686,000	27.9
株式等譲渡所得割 交付金	401,000,000	0	401,000,000	0.2	0	0.0
法人事業税交付金	398,000,000	0	398,000,000	0.2	228,307,000	57.4
地方消費税 交付金	9,900,000,000	0	9,900,000,000	3.9	5,345,701,000	54.0
ゴルフ場利用税 交付金	138,000,000	0	138,000,000	0.1	42,710,676	30.9
自動車取得税 交付金	0	0	0	0.0	51,155	0.0
環境性能割 交付金	127,000,000	0	127,000,000	0.0	32,494,000	25.6
地方特例交付金	393,000,000	0	393,000,000	0.2	382,913,000	97.4
地方交付税	1,980,000,000	0	1,980,000,000	0.8	1,979,086,000	100.0
交通安全対策 特別交付金 分担金及び 負担金	65,000,000	0	65,000,000	0.0	33,202,000	51.1
使用料及び 手数料	881,171,000	0	881,171,000	0.3	233,259,721	26.5
国庫支出金	6,857,170,000	△ 80,655,000	6,776,515,000	2.7	2,767,185,681	40.8
県支出金	34,295,354,000	51,105,507,000	1,040,505,000	34.0	0	0
財産収入	12,455,242,000	555,676,000	4,864,000	5.1	4,864,000	11.4
寄附金	1,050,883,000	35,000	13,015,782,000	0.4	1,480,644,514	17.0
繰入金	104,122,000	25,169,000	1,050,918,000	0.1	178,580,386	58.1
繰越金	7,195,396,000	5,216,440,000	129,291,000	0.1	75,073,442	58.1
繰越金	7,195,396,000	5,216,440,000	12,411,836,000	4.9	22,236,803	0.2
繰越金	1,000	12,333,000	676,219,000	0.3	676,219,000	186.8
諸収入	10,701,281,000	93,952,000	688,553,000	4.2	1,286,486,064	0
市債	16,746,000,000	240,700,000	10,795,233,000	7.5	755,769,571	7.0
歳入合計	193,080,562,000	57,169,157,000	2,070,500,000	100.0	681,083,000	51.1
			254,041,807,000		129,755,916,765	

科目	歳出				支出済額 D	執行率 D/C (%)
	予算額			構成率 (%)		
	当初予算額	補正額	予算現額 C			
議会費	895,456,000	△ 61,061,000	834,395,000	0.3	422,466,627	50.6
総務費	23,094,210,000	50,212,534,000	73,306,744,000	28.9	57,525,179,533	78.5
民生費	88,304,936,000	2,991,564,000	728,984,000	36.2	207,150,633	35.5
衛生費	15,594,272,000	674,089,000	92,025,484,000	6.4	32,642,465,647	39.6
労働費	301,507,000	51,827,000	16,268,361,000	0.2	6,440,007,249	22.8
農林水産費	165,984,000	20,556,000	353,334,000	0.1	80,725,495	34.3
商工費	964,350,000	1,285,599,000	186,540,000	0.9	64,026,226	0
土木費	16,988,304,000	328,082,000	2,249,949,000	6.9	690,279,026	30.7
消防費	6,601,294,000	18,506,000	298,642,000	2.6	160,507,714	39.0
教育費	24,412,744,000	1,592,230,000	17,615,028,000	11.3	6,871,160,436	39.1
災害復旧費	2,000,000	44,496,000	6,619,800,000	0.0	2,585,967,453	0.0
公債費	15,669,698,000	0	2,764,462,000	6.2	798,802,591	51.8
諸支出金	5,807,000	0	28,769,436,000	0.0	8,942,625,376	0.0
予備費	80,000,000	10,735,000	46,496,000	0.0	0	0.0
			5,807,000		0	
			90,735,000		0	
歳出合計	193,080,562,000	57,169,157,000	3,792,088,000	100.0	1,166,460,938	49.0
			254,041,807,000		124,375,050,133	

(注) 上段の数字は、前年度からの繰越事業費の再掲

第2表

## 令和2年度 特別会計予算とその執行状況

令和2年9月30日現在 (単位:円)

会 計	予 算 額			収入済額 B	執行率 B/A (%)	支出済額 C	執行率 C/A (%)
	当初予算額	補正額	予算現額 A				
国民健康保険	44,279,733,000	31,065,000	44,310,798,000	13,626,300,673	30.8	13,055,663,025	29.5
食肉センター	356,568,000	1,298,000	357,866,000	42,181,854	11.8	159,780,869	44.6
中小企業勤労者福祉共済事業	129,610,000	0	129,610,000	37,678,009	29.1	46,564,465	35.9
公共用地買収事業	8,700,000	0	3,032,430 11,732,430	3,032,430 8,429,252	71.8	3,032,430 3,089,813	26.3
介護保険	34,732,482,000	18,818,000	34,751,300,000	14,111,253,112	40.6	14,098,050,721	40.6
後期高齢者医療事業	7,793,938,000	0	7,793,938,000	3,073,584,848	39.4	2,640,322,665	33.9
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	27,824,000	0	27,824,000	25,622,948	92.1	10,126,005	36.4
鳴尾外財産区	26,423,000	0	26,423,000	26,421,274	100.0	22,798,122	86.3
集合支払費	1,286,384,000	3,808,000	1,290,192,000	279,824,968	21.7	411,906,995	31.9
特別会計 合計	88,641,662,000	54,989,000	3,032,430 88,699,683,430	3,032,430 31,231,296,938	35.2	3,032,430 30,448,302,680	34.3

(注) 上段の数字は、前年度からの繰越事業費の再掲

## 第3表

## 市債、公有財産及び一時借入金等の状況

令和2年9月30日現在

## 市債の現在高

区 分		金 額 (円)
一般会計		130,153,248,058
特別会計		437,183,388
内 訳	食肉センター	405,097,254
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	32,086,134
合 計		130,590,431,446

## 公有財産の状況

区 分		数 量 (㎡)	評価額 (千円)	構成率 (%)
行政 財産	土地	5,475,567.30	636,819,277	59.9
	建 物	1,526,292.09	331,155,825	31.2
	計	7,001,859.39	967,975,102	91.1
普通 財産	土地	4,391,936.17	69,495,284	6.5
	建 物	42,294.39	9,160,574	0.9
	計	4,434,230.56	78,655,858	7.4
有価証券・その他			15,788,211	1.5
合 計	土地	9,867,503.47	706,314,561	66.4
	建 物	1,568,586.48	340,316,399	32.1
	有価証券・その他		15,788,211	1.5
合 計		11,436,089.95	1,062,419,171	100.0

## 一時借入金等の状況

(単位:千円)

借入金残額	0
-------	---

第4表

## 令和元年度 決算総括表

(単位:円)

会 計	区 分	決 算 額
一般会計	歳入総額	176,365,519,332
	歳出総額	175,091,366,252
	歳入歳出差引額	1,274,153,080
	翌年度へ繰越すべき財源	676,219,000
	実質収支	597,934,080
特別会計	歳入総額	88,529,902,277
	歳出総額	87,147,779,415
	歳入歳出差引額	1,382,122,862
	翌年度へ繰越すべき財源	3,032,430
	実質収支	1,379,090,432
合 計	歳入総額	264,895,421,609
	歳出総額	262,239,145,667
	歳入歳出差引額	2,656,275,942
	翌年度へ繰越すべき財源	679,251,430
	実質収支	1,977,024,512



第5表

## 令和元年度 一般会計決算額

## 歳入

科目	予算現額		決算額		収入率 B/A (%)
	A	構成率 (%)	B	構成率 (%)	
市税	87,362,195,000	46.9	87,638,986,210	49.7	100.3
地方譲与税	827,201,000	0.4	837,785,735	0.5	101.3
利子割交付金	106,000,000	0.1	110,424,000	0.1	104.2
配当割交付金	790,000,000	0.4	715,756,000	0.4	90.6
株式等譲渡所得割 交付金	707,000,000	0.4	383,609,000	0.2	54.3
地方消費税 交付金	7,735,000,000	4.1	7,633,764,000	4.3	98.7
ゴルフ場利用税 交付金	121,000,000	0.1	138,776,776	0.1	114.7
自動車取得税 交付金	181,000,000	0.1	171,517,637	0.1	94.8
環境性能割交付金	98,000,000	0.1	48,316,000	0.0	49.3
地方特例交付金	1,049,964,000	0.6	1,123,219,000	0.6	107.0
地方交付税	3,225,868,000	1.7	3,280,286,000	1.9	101.7
交通安全対策 特別交付金	70,000,000	0.0	57,699,000	0.0	82.4
分担金及び 負担金	1,476,711,000	0.8	1,418,332,948	0.8	96.0
使用料及び 手数料	6,586,653,000	3.5	6,460,845,152	3.7	98.1
国庫支出金	32,832,420,000	17.6	30,856,366,162	17.5	94.0
県支出金	11,472,308,000	6.2	11,093,630,801	6.3	96.7
財産収入	999,059,000	0.5	1,223,581,864	0.7	122.5
寄附金	181,679,000	0.1	207,875,846	0.1	114.4
繰入金	9,560,140,000	5.1	5,729,451,575	3.2	59.9
繰越金	983,798,560	0.5	983,799,042	0.6	100.0
諸収入	5,222,818,000	2.8	5,192,696,584	2.9	99.4
市債	14,882,200,000	8.0	11,058,800,000	6.3	74.3
歳入合計	186,471,014,560	100.0	176,365,519,332	100.0	94.6

## 歳出

(単位:円)

科目	予算現額		決算額		支出率 D/C (%)
	C	構成率 (%)	D	構成率 (%)	
議会費	895,257,000	0.5	856,451,547	0.5	95.7
総務費	19,162,115,000	10.3	18,138,152,613	10.4	94.7
民生費	84,298,532,000	45.2	80,398,999,333	45.9	95.4
衛生費	15,270,782,000	8.2	14,717,815,806	8.4	96.4
労働費	273,316,000	0.2	260,946,459	0.2	95.5
農林水産費	181,666,000	0.1	163,101,979	0.1	89.8
商工費	1,651,481,000	0.9	1,303,522,577	0.7	78.9
土木費	17,416,452,560	9.3	16,302,480,777	9.3	93.6
消防費	5,677,911,000	3.0	5,487,522,873	3.1	96.6
教育費	25,751,898,000	13.8	21,731,859,754	12.4	84.4
災害復旧費	19,319,000	0.0	14,126,380	0.0	73.1
公債費	15,717,136,000	8.4	15,710,658,848	9.0	100.0
諸支出金	5,728,000	0.0	5,727,306	0.0	100.0
予備費	149,421,000	0.1	0	0.0	0.0
歳出合計	186,471,014,560	100.000	175,091,366,252	100.000	93.9

第6表

## 令和元年度 特別会計決算額

(単位:円)

会 計	予 算 現 額 A	歳 入		歳 出	
		決算額 B	収入率 B/A (%)	決算額 C	支出率 C/A (%)
国民健康保険	45,116,485,000	44,573,183,190	98.8	44,244,230,125	98.1
食肉センター	435,757,000	414,800,495	95.2	414,800,495	95.2
農業共済事業	16,502,000	22,194,959	134.5	9,861,975	59.8
中小企業勤労者福祉共済事業	144,263,000	135,641,808	94.0	120,930,522	83.8
公共用地買収事業	23,689,000	22,239,374	93.9	14,676,870	62.0
介護保険	35,231,754,000	34,447,233,926	97.8	33,695,351,668	95.6
後期高齢者医療事業	7,668,462,000	7,559,778,953	98.6	7,312,266,513	95.4
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	40,866,000	44,318,391	108.4	25,150,066	61.5
鳴尾外財産区	26,423,000	26,421,274	100.0	26,421,274	100.0
集合支払費	1,472,929,000	1,284,089,907	87.2	1,284,089,907	87.2
特別会計 合計	90,177,130,000	88,529,902,277	98.2	87,147,779,415	96.6

第7表

## 令和元年度 一般会計・特別会計 歳出決算額(性質別)

(単位:円)

区分		一般会計	構成率 (%)	特別会計	構成率 (%)	合計	構成率 (%)
消費の経費		129,776,611,533	74.1	86,324,331,099	99.1	216,100,942,632	82.4
内 訳	人件費	35,210,479,342	20.1	961,419,355	1.1	36,171,898,697	13.8
	物件費	24,804,440,544	14.2	3,480,617,865	4.0	28,285,058,409	10.8
	維持補修費	3,130,407,084	1.8	7,882,000	0.0	3,138,289,084	1.2
	扶助費	51,055,540,320	29.1	8,126,896	0.0	51,063,667,216	19.5
	補助費等	15,575,744,243	8.9	81,866,284,983	94.0	97,442,029,226	37.1
投資の経費		15,362,242,520	8.8	122,054,682	0.1	15,484,297,202	5.9
内 訳	普通建設事業費	15,348,116,140	8.8	122,054,682	0.1	15,470,170,822	5.9
	内 補助事業費	9,580,750,298	5.5	0	0.0	9,580,750,298	3.7
	内 単独事業費	5,767,365,842	3.3	122,054,682	0.1	5,889,420,524	2.2
	災害復旧事業費	14,126,380	0.0	0	0.0	14,126,380	0.0
	失業対策事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
公債費		15,710,658,848	9.0	50,719,126	0.1	15,761,377,974	6.0
積立金		1,202,210,726	0.7	645,017,208	0.7	1,847,227,934	0.7
投資及び出資金		965,306,651	0.5	0	0.0	965,306,651	0.4
貸付金		915,834,000	0.5	5,657,000	0.0	921,491,000	0.3
繰出金		11,158,501,974	6.4	300	0.0	11,158,502,274	4.3
前年度繰上充用金		0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計		175,091,366,252	100.0	87,147,779,415	100.0	262,239,145,667	100.0

第8表

令和元年度 一般会計決算 市民一人あたりの歳出額・税負担額

人口 486,799 人  
世帯数 216,509 世帯 (令和2年3月31日現在)

一般会計 歳出決算

科目	決算額 (円)	市民一人 あたりの額 (円)	一世帯 あたりの額 (円)
合計	175,091,366,252	359,679	808,702
議会費	856,451,547	1,759	3,956
総務費	18,138,152,613	37,260	83,775
民生費	80,398,999,333	165,159	371,343
衛生費	14,717,815,806	30,234	67,978
労働費	260,946,459	536	1,205
農林水産費	163,101,979	335	753
商工費	1,303,522,577	2,678	6,021
土木費	16,302,480,777	33,489	75,297
消防費	5,487,522,873	11,273	25,345
教育費	21,731,859,754	44,642	100,374
災害復旧費	14,126,380	29	65
公債費	15,710,658,848	32,273	72,564
諸支出金	5,727,306	12	26

市税収入の決算額

区分	決算額 (円)	市民一人 あたりの額 (円)	一世帯 あたりの額 (円)
市税	87,638,986,210	180,031	404,782
うち個人市民税	39,099,836,188	80,320	180,592
固定資産税	32,671,321,024	67,114	150,900
都市計画税	7,709,242,750	15,837	35,607
市たばこ税	2,130,147,329	4,376	9,839
その他の市税	6,028,438,919	12,384	27,844

## 令和2年度上半期病院事業 業務状況報告

### 1. 病院事業の概況

#### 業務実績

当年度上半期における入院患者数は、延べ19,428人(1日平均106.2人)、外来患者数は、延べ41,579人(1日平均340.8人)となり、前年同期に比べ入院患者数においては、3,495人減少(1日平均19.1人減)し、外来患者数においては、8,521人減少(1日平均73.2人減)しました。

区 分		2年度上半期	元年度上半期	増 減	増 減 率
入院	延 患 者 数	19,428 人	22,923 人	△ 3,495 人	△ 15.3 %
	診 療 日 数	183 日	183 日	—	—
	1 日 平 均	106.2 人	125.3 人	△ 19.1 人	△ 15.2 %
外来	延 患 者 数	41,579 人	50,100 人	△ 8,521 人	△ 17 %
	診 療 日 数	122 日	121 日	1 日	0.8 %
	1 日 平 均	340.8 人	414.0 人	△ 73.2 人	△ 17.7 %

区 分		2年度上半期	元年度上半期	増 減	増 減 率
入院	収 益	1,102,376,430 円	1,213,979,994 円	△ 111,603,564 円	△ 9.2 %
	1 人 1 日 平 均	56,742 円	52,959 円	3,783 円	7.1 %
外来	収 益	673,149,523 円	780,060,472 円	△ 106,910,949 円	△ 13.7 %
	1 人 1 日 平 均	16,190 円	15,570 円	620 円	4 %

## 2. 経理の状況

令和2年度上半期における収益的収支の状況は、病院事業収益で一般会計からの繰入金 764,193,000円を含めて 2,662,513,314円となり、対する病院事業費用は、2,755,227,048円で差引き 92,713,734円の純損失となりました。

科目別に前年度同期と比較しますと、収益は、医業収益が 2,145,135,624円となり、249,460,481円の減少(10.4%減)、医業外収益が 516,979,665円となり、59,394,766円の減少(10.3%減)、特別利益が 398,025円となり、406,715円の減少(50.5%減)となりました。

収益合計は、前年度同期に比べ、309,261,962円の減少(10.4%減)となりました。

収益の主な増減の内容は、次のとおりです。

医業収益では、入院収益において、1人1日平均診療単価が 3,783円増加(7.1%増)しましたが、延患者数が 3,495人減少(15.3%減)したことにより 111,603,564円の減少(9.2%減)となりました。

一方、外来収益においても、1人1日平均診療単価が 620円増加(4.0%増)しましたが、延患者数が 8,521人減少(17.0%減)したことにより 106,910,949円の減少(13.7%減)となりました。

医業外収益では、一般会計補助金及び負担金が 56,062,000円の減少(10.0%減)、その他医業外収益が 3,332,766円の減少(23.0%減)となっています。

特別利益では、過年度損益修正益が 406,715円の減少(50.5%減)となりました。

対する費用は、医業費用が 2,684,517,343円となり、100,729,028円の減少(3.6%減)、医業外費用が 66,515,994円となり、773,399円の増加(1.2%増)、特別損失が 4,193,711円となり、631,526円の減少(13.1%減)となりました。

費用合計は、前年度同期に比べ、100,587,155円の減少(3.5%減)となりました。

費用の主な増減の内容は、次のとおりです。

医業費用では、給与費が報酬等の減少により 11,294,221円の減少(0.8%減)、材料費が薬品費等の減少により 43,288,129円の減少(7.3%減)、経費が委託料等の増加により 5,124,951円の増加(0.9%増)、減価償却費が 44,957,500円の減少(17.3%減)、研究研修費が 6,314,129円の減少(50.5%減)となっています。

医業外費用の増加は、雑支出が 7,848,500円増加(29.1%増)したことなどによります。

特別損失の減少は、その他特別損失が 650,000円減少(13.5%減)したことなどによります。

損益は、令和2年度上半期 92,713,734円の純損失となりました。

資本的収支は、収入が 385,864,500円、支出が 438,367,069円となっています。

(注1) 減価償却費、消費税及び地方消費税、長期前払消費税額償却、及び雑支出については、予算額の1/2を計上しています。

(注2) 消費税及び地方消費税については、期末一括税抜処理とするため、上半期分は税込額です。

収益的収入及び支出前年度比較

(単位：円)

科 目	2年度上半期	元年度上半期	増 減 額	増 減 率 %
<b>病院事業収益</b>	2,662,513,314	2,971,775,276	-309,261,962	-10.4
医業収益	2,145,135,624	2,394,596,105	-249,460,481	-10.4
入院収益	1,102,376,430	1,213,979,994	-111,603,564	-9.2
外来収益	673,149,523	780,060,472	-106,910,949	-13.7
その他医業収益	369,609,671	400,555,639	-30,945,968	-7.7
医業外収益	516,979,665	576,374,431	-59,394,766	-10.3
受取利息	0	0	0	—
国県補助金	0	0	0	—
一般会計負担金	351,909,000	404,162,000	-52,253,000	-12.9
一般会計補助金	153,920,000	157,729,000	-3,809,000	-2.4
雑収益	0	0	0	—
その他医業外収益	11,150,665	14,483,431	-3,332,766	-23.0
特別利益	398,025	804,740	-406,715	-50.5
過年度損益修正益	398,025	804,740	-406,715	-50.5
その他特別利益	0	0	0	—
<b>病院事業費用</b>	2,755,227,048	2,855,814,203	-100,587,155	-3.5
医業費用	2,684,517,343	2,785,246,371	-100,729,028	-3.6
給与費	1,355,226,733	1,366,520,954	-11,294,221	-0.8
材料費	546,204,870	589,492,999	-43,288,129	-7.3
経 費	561,835,673	556,710,722	5,124,951	0.9
減価償却費	215,062,000	260,019,500	-44,957,500	-17.3
資産減耗費	0	0	0	—
研究研修費	6,188,067	12,502,196	-6,314,129	-50.5
医業外費用	66,515,994	65,742,595	773,399	1.2
支払利息及び企業債取扱諸費	2,308,994	2,758,595	-449,601	-16.3
消費税及び地方消費税	7,107,000	8,335,500	-1,228,500	-14.7
長期前払消費税額償却	22,287,500	27,684,500	-5,397,000	-19.5
雑支出	34,812,500	26,964,000	7,848,500	29.1
特別損失	4,193,711	4,825,237	-631,526	-13.1
過年度損益修正損	43,711	25,237	18,474	73.2
その他特別損失	4,150,000	4,800,000	-650,000	-13.5
予備費	0	0	0	—
差 引 損 益	-92,713,734	115,961,073	-208,674,807	—

(注1) 減価償却費、消費税及び地方消費税、長期前払消費税額償却及び雑支出については、予算額の1/2を計上しています。

(注2) 消費税及び地方消費税については、期末一括税抜処理とするため、上半期分は税込額です。

資 本 的 収 入 及 び 支 出 前 年 度 比 較

(単位：円)

科 目	2年度上半期	元年度上半期	増 減 額	増 減 率 %
<b>資本的収入</b>	385,864,500	447,636,515	-61,772,015	-13.8
企業債	0	0	0	—
出資金	383,587,000	446,894,000	-63,307,000	-14.2
他会計からの長期借入金	0	0	0	—
貸付金返還金	2,277,500	742,515	1,534,985	206.7
<b>資本的支出</b>	438,367,069	471,211,487	-32,844,418	-7.0
建設改良費	62,302,900	25,680,888	36,622,012	142.6
企業債償還金	373,664,169	442,930,599	-69,266,430	-15.6
他会計からの長期借入金償還金	0	0	0	—
投資	2,400,000	2,600,000	-200,000	-7.7
差 引	-52,502,569	-23,574,972	-28,927,597	—



令和2年度上半期損益計算書 (R2. 4. 1~R2. 9. 30)

(単位：円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
<b>医業費用</b>	2,684,517,343	<b>医業収益</b>	2,145,135,624
給与費	1,355,226,733	入院収益	1,102,376,430
材料費	546,204,870	外来収益	673,149,523
経費	561,835,673	その他医業収益	369,609,671
減価償却費	215,062,000	<b>医業外収益</b>	516,979,665
資産減耗費	0	受取利息	0
研究研修費	6,188,067	国県補助金	0
<b>医業外費用</b>	66,515,994	一般会計負担金	351,909,000
支払利息及び企業債取扱諸費	2,308,994	一般会計補助金	153,920,000
消費税及び地方消費税	7,107,000	雑収益	0
長期前払消費税額償却	22,287,500	その他医業外収益	11,150,665
雑支出	34,812,500	<b>特別利益</b>	398,025
		過年度損益修正益	398,025
<b>特別損失</b>	4,193,711	その他特別利益	0
過年度損益修正損	43,711		
その他特別損失	4,150,000		
<b>当期純利益</b>	-92,713,734		
合計	2,662,513,314	合計	2,662,513,314

(注1) 減価償却費、消費税及び地方消費税、長期前払消費税額償却及び雑支出については、予算額の1/2を計上しています。

(注2) 消費税及び地方消費税については、期末一括税抜処理とするため、上半期分は税込額です。

令和2年度上半期貸借対照表 (R2.9.30現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	4,569,936,399	固定負債	5,524,751,834
有形固定資産	4,465,424,095	他会計借入金	3,509,905,581
投資その他の資産	104,512,304	企業債	1,063,210,775
		引当金	951,635,478
流動資産	1,063,722,860		
現金預金	412,957,358	流動負債	1,380,730,041
未収金	589,837,117	一時借入金	600,000,000
貯蔵品	51,394,992	他会計借入金	6,600,000
前払金	9,533,393	企業債	373,841,717
		未払金	368,030,473
		その他流動負債	32,257,851
		繰延収益	121,341,635
		長期前受金	467,490,073
		長期前受金収益化累計額	△ 346,148,438
		資本金	13,934,184,580
		剰余金	△ 15,327,348,831
		資本剰余金	725,600,000
		利益剰余金	△ 16,052,948,831
資 産 合 計	5,633,659,259	負債・資本合計	5,633,659,259

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 7,734,567,350 円

## 1. 令和元年度決算の状況

令和元年度事業における業務量及び経理状況は、次のとおりです。

### (1) 業務状況

ア. 病床数	257 床
イ. 年間入院延患者数 (診療日数 366 日)	46,074 人
ウ. 年間外来延患者数 (診療日数 241 日)	97,536 人
エ. 1 日平均入院患者数	125.9 人
オ. 1 日平均外来患者数	406.4 人

## (2) 経理状況

## ①収益及び費用

(単位：円)

収 益 の 部		費 用 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院事業収益	5,241,545,893	病院事業費用	6,537,733,346
医業収益	4,492,363,477	医業費用	6,283,003,273
入院収益	2,440,161,248	給与費	3,414,270,399
外来収益	1,526,628,976	材料費	1,123,680,225
その他医業収益	525,573,253	経 費	1,203,087,857
医業外収益	745,501,205	減価償却費	516,021,892
受取利息	0	資産減耗費	1,994,129
国県補助金	6,286,968	研究研修費	23,948,771
一般会計負担金	405,643,393	医業外費用	236,342,672
一般会計補助金	291,259,586	支払利息及び企業債取扱諸費	5,324,202
雑収益	25,813	長期前払消費税額償却	53,714,539
長期前受金戻入	7,658,261	雑支出	177,303,931
その他医業外収益	34,627,184		
特別利益	3,681,211	特別損失	18,387,401
過年度損益修正益	981,211	過年度損益修正損	8,187,401
一般会計補助金	0	その他特別損失	10,200,000
その他特別利益	2,700,000		

## ②資本的収入及び支出

(単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資本的収入	1,672,667,151	資本的支出	980,389,651
企業債	60,800,000	建設改良費	78,952,898
出資金	904,239,651	企業債償還金	886,086,753
補助金	700,000,000	他会計からの長期借入金償還金	9,450,000
他会計からの長期借入金	5,900,000	投資	5,900,000
貸付金返還金	1,727,500		

## 令和2年度上半期水道事業の業務の状況

### 1 事業の概況

#### (1) 給水

区 分	令和2年度上半期	令和元年度上半期	前年比
給 水 戸 数	236,484 戸	234,821 戸	100.7 %
給 水 装 置 数	116,091 個	114,506 個	101.4 %
給 水 人 口	487,342 人	487,288 人	100.0 %
配 水 量	(25,749,309) m <sup>3</sup>	(25,625,627) m <sup>3</sup>	101.0 %
	27,186,209 m <sup>3</sup>	26,929,717 m <sup>3</sup>	
一日最大配水量	(8月17日) 158,695 m <sup>3</sup>	(7月31日) 156,893 m <sup>3</sup>	101.1 %
一日最小配水量	(5月16日) 134,934 m <sup>3</sup>	(8月15日) 134,319 m <sup>3</sup>	100.5 %
一日平均配水量	148,559 m <sup>3</sup>	147,157 m <sup>3</sup>	101.0 %

注 配水量の（ ）は内数で、阪神水道企業団及び兵庫県企業庁からの受水量

9月末の給水戸数は236,484戸で、給水人口は487,342人です。  
配水量については、前年同期に比べて、  
一日最大配水量は、1.1% (1,802m<sup>3</sup>) 増の158,695m<sup>3</sup>で、  
一日平均配水量は、1.0% (1,402m<sup>3</sup>) 増の148,559m<sup>3</sup>です。

## (2) 建設

原水及び浄水施設費で施工している主な工事としては、次の工事です。

### 1. 鳴尾浄水場受変電設備ほか更新工事

配水施設費で施工している主な工事としては、次の工事です。

1. 鷲林寺南配水槽・中継場更新工事
2. 湯ノ口配水所電気機械設備ほか改良工事
3. 越水浄水場中央監視設備ほか改良工事

また、市内各所の送配水管4,532.7mを布設改良しました。

## (3) 受託工事

区分	令和2年度上半期		令和元年度上半期		前年比
給水装置 修繕工事	734 件	宅地内 有料 149 無料 585	811 件	宅地内 有料 193 無料 618	90.5 %
給水本管 布設等	0 件	布設 撤去	0 件	布設 撤去	- %

## 2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が41億7,063万円(給水収益、その他の営業収益等)で、これに対する営業費用の42億9,789万円を差引くと1億2,726万円の営業損失となります。これに営業外収益(長期前受金戻入、分担金等)と営業外費用(支払利息等)を加減すると1億1,378万円の経常利益となり、当期は1億1,378万円の純利益となります。なお、当期の給水収益は、新型コロナウイルス感染症対策として水道料金の基本料金の免除を令和2年7月検針分から4か月間実施したうちの3か月分を反映しています。

科目	令和2年度上半期	令和元年度上半期	前年比(%)
<b>1 営業収益</b>	<b>4,170,633,881</b>	<b>4,918,515,490</b>	<b>84.8</b>
(1)給水収益	4,023,849,783	4,776,197,281	84.2
(2)受託工事収益	1,841,305	2,501,128	73.6
(3)その他の営業収益	144,942,793	139,817,081	103.7
<b>2 営業費用</b>	<b>4,297,894,679</b>	<b>4,422,007,870</b>	<b>97.2</b>
(1)原水及び浄水費	275,061,159	266,799,884	103.1
(2)受水費	1,746,201,232	1,905,278,388	91.7
(3)配水費	361,937,470	342,296,264	105.7
(4)給水費	210,650,203	185,820,464	113.4
(5)受託工事費	2,468,979	5,184,527	47.6
(6)業務費	237,017,208	239,445,056	99.0
(7)総係費	162,493,006	163,672,821	99.3
(8)減価償却費	1,230,642,500	1,232,611,500	99.8
(9)資産減耗費	70,591,500	80,591,500	87.6
(10)その他営業費用	831,422	307,466	270.4
<b>営業利益</b>	<b>△ 127,260,798</b>	<b>496,507,620</b>	<b>—</b>
<b>3 営業外収益</b>	<b>506,007,089</b>	<b>550,422,156</b>	<b>91.9</b>
(1)受取利息	74,157	105,981	70.0
(2)分担金	92,447,600	125,849,700	73.5
(3)他会計補助金	0	0	—
(4)長期前受金戻入	407,760,500	418,215,000	97.5
(5)雑収益	5,724,832	6,251,475	91.6
<b>4 営業外費用</b>	<b>264,969,872</b>	<b>252,364,408</b>	<b>105.0</b>
(1)支払利息等	149,969,872	162,364,408	92.4
(2)消費税	115,000,000	90,000,000	127.8
<b>経常利益</b>	<b>113,776,419</b>	<b>794,565,368</b>	<b>14.3</b>
<b>5 特別利益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1)固定資産売却益	0	0	—
(2)過年度損益修正益	0	0	—
(3)その他特別利益	0	0	—
<b>6 特別損失</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1)固定資産売却損	0	0	—
(2)過年度損益修正損	0	0	—
(3)減損損失	0	0	—
<b>当期純利益</b>	<b>113,776,419</b>	<b>794,565,368</b>	<b>14.3</b>
<b>前期末未処分利益剰余金</b>	<b>3,541,332,222</b>	<b>2,949,965,279</b>	<b>120.0</b>
<b>利益剰余金処分額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>当期末未処分利益剰余金</b>	<b>3,655,108,641</b>	<b>3,744,530,647</b>	<b>97.6</b>

(注1) 長期前受金戻入、減価償却費、資産減耗費、消費税は、年間予算額の1/2である。

(注2) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。

当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

### 水道事業貸借対照表

(令和2年9月30日現在)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
<b>固定資産</b>	<b>57,590,786,288</b>	<b>固定負債</b>	<b>19,471,835,950</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>57,108,784,512</b>	企業債	17,830,484,696
土地	8,255,914,133	リース債務	75,570,828
建物	1,868,390,587	退職給付引当金	1,509,982,982
構築物	39,694,032,687	修繕引当金	55,797,444
機械及び装置	4,739,443,222	<b>流動負債</b>	<b>1,654,465,501</b>
車両運搬具	19,999,449	企業債	594,838,871
船舶	224,543	リース債務	19,057,990
工具器具及び備品	24,988,930	未払金	255,033,730
リース資産	84,931,060	前受金	311,068,811
建設仮勘定	1,410,319,432	賞与引当金	0
工事勘定	1,010,540,469	一時借入金	0
<b>無形固定資産</b>	<b>480,315,491</b>	その他流動負債	474,466,099
<b>投資</b>	<b>1,686,285</b>	<b>繰延収益</b>	<b>14,492,661,702</b>
投資有価証券	0	長期前受金	36,371,053,565
出資金	1,686,285	長期前受金収益化累計額	△ 21,878,391,863
長期貸付金	0	<b>資本金</b>	<b>18,323,180,238</b>
定期預金	0	自己資本金	18,323,180,238
<b>流動資産</b>	<b>4,985,357,586</b>	<b>剰余金</b>	<b>8,634,000,483</b>
現金預金	3,835,989,812	<b>資本剰余金</b>	<b>3,551,884,842</b>
未収金	717,202,703	<b>利益剰余金</b>	<b>5,082,115,641</b>
貯蔵品	50,132,283	減債積立金	0
前払金	381,992,788	建設改良積立金	784,907,000
短期貸付金	0	当期末未処分利益剰余金	3,655,108,641
前払費用	0	その他未処分利益剰余金変動額	642,100,000
その他流動資産	40,000	当年度未処理欠損金	0
<b>計</b>	<b>62,576,143,874</b>	<b>計</b>	<b>62,576,143,874</b>

(注1) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。



## 令和元年度水道事業の決算の状況

令和元年度末の給水人口は、48万6,686人で、前年度より31人(0.0%)増加しています。また、給水戸数は23万5,772戸で、前年度より1,757戸(0.8%)増加しました。年間の配水量は5,365万5,041立方メートルとなり、前年度より29万2,909立方メートル(0.5%)減少しました。

令和元年度の収入は、分担金等で増となりましたが、給水収益、特別利益等の減により、前年度に比べて、1億827万円の減となりました。支出は、委託料等で増となりましたが、人件費、特別損失等の減により、前年度に比べて、4億12万円の減となりました。

この結果、令和元年度の決算は、給水収益などの収益的収入総額104億9,401万円に対し、給水収益などをもって充てる経費である収益的支出総額は93億6,054万円で、差引11億3,347万円の純利益となりました。また、令和元年度末の累積黒字(未処分利益剰余金)は41億8,343万円となりました。

資本的収支においては、建設改良費、企業債償還金等の資本的支出は、36億3,780万円となりました。この財源として企業債、工事負担金等の資本的収入12億3,796万円で賄い、なお不足する額23億9,984万円は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

## 令和2年度上半期工業用水道事業の業務の状況

### 1 事業の概況

#### (1) 給水

区分	令和2年度上半期	令和元年度上半期	前年比
給水契約事業所数	49 所	51 所	96.1 %
給水事業所数	49 所	51 所	96.1 %
給水施設数	50 箇所	52 箇所	96.2 %
一日契約水量	20,801 m <sup>3</sup>	26,173 m <sup>3</sup>	79.5 %
配水量	1,958,005 m <sup>3</sup>	2,497,281 m <sup>3</sup>	78.4 %
一日最大配水量	(6月23日) 13,555 m <sup>3</sup>	(8月6日) 16,291 m <sup>3</sup>	83.2 %
一日最小配水量	(4月19日) 7,495 m <sup>3</sup>	(5月4日) 9,433 m <sup>3</sup>	79.5 %
一日平均配水量	10,699 m <sup>3</sup>	13,646 m <sup>3</sup>	78.4 %

9月末の給水契約事業所数と給水事業所数は、前年から2所増4所減の49箇所、給水施設数は、前年から2所増4所減の50箇所です。一日契約水量は、前年同期に比べ5,372m<sup>3</sup>減の20,801m<sup>3</sup>です。

配水量については、前年同期に比べ、  
 一日最大配水量が16.8% (2,736m<sup>3</sup>) 減の13,555m<sup>3</sup>で、  
 一日平均配水量が21.6% (2,947m<sup>3</sup>) 減の10,699m<sup>3</sup>です。

## 2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が1億9,742万円（給水収益等）で、これに対する営業費用の1億4,364万円を差引くと5,378万円の営業利益となります。これに営業外収益（長期前受金戻入等）と営業外費用（支払利息等）を加減すると5,681万円の経常利益となり、当期は5,681万円の純利益となります。

科目	令和2年度上半期	令和元年度上半期	前年比(%)
<b>1 営業収益</b>	<b>197,422,707</b>	<b>232,850,723</b>	<b>84.8</b>
(1)給水収益	196,592,186	232,850,723	84.4
(2)受託工事収益	0	0	—
(3)その他の営業収益	830,521	0	皆増
<b>2 営業費用</b>	<b>143,637,119</b>	<b>180,217,255</b>	<b>79.7</b>
(1)原水費	46,977,586	50,784,066	92.5
(2)浄水費	9,993,245	9,986,395	100.1
(3)配水費	49,542,155	47,742,193	103.8
(4)受託工事費	0	0	—
(5)業務費	4,693,475	4,704,422	99.8
(6)総係費	5,697,778	11,888,679	47.9
(7)減価償却費	24,588,000	49,007,500	50.2
(8)資産減耗費	2,140,500	6,104,000	35.1
(9)その他営業費用	4,380	0	皆増
<b>営業利益</b>	<b>53,785,588</b>	<b>52,633,468</b>	<b>102.2</b>
<b>3 営業外収益</b>	<b>9,609,650</b>	<b>14,550,759</b>	<b>66.0</b>
(1)受取利息	64,602	97,875	66.0
(2)分担金	1,939,464	0	皆増
(3)長期前受金戻入	7,599,500	14,432,000	52.7
(4)他会計補助金	0	0	—
(5)雑収益	6,084	20,884	29.1
<b>4 営業外費用</b>	<b>6,589,062</b>	<b>10,276,601</b>	<b>64.1</b>
(1)支払利息等	1,589,062	1,776,601	89.4
(2)消費税	5,000,000	8,500,000	58.8
<b>経常利益</b>	<b>56,806,176</b>	<b>56,907,626</b>	<b>99.8</b>
<b>5 特別利益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1)固定資産売却益	0	0	—
(2)過年度損益修正益	0	0	—
<b>6 特別損失</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1)固定資産譲渡損	0	0	—
(2)過年度損益修正損	0	0	—
(3)退職給付引当金繰入額	0	0	—
<b>当期純利益</b>	<b>56,806,176</b>	<b>56,907,626</b>	<b>99.8</b>
<b>前期末未処分利益剰余金</b>	<b>345,436,878</b>	<b>1,138,159,605</b>	<b>30.4</b>
<b>利益剰余金処分額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>当期末未処分利益剰余金</b>	<b>402,243,054</b>	<b>1,195,067,231</b>	<b>33.7</b>

(注1) 長期前受金戻入、減価償却費、資産減耗費、消費税は、年間予算額の1/2である。

(注2) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。

当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

### 工業用水道事業貸借対照表

(令和2年9月30日現在)

資産の部		負債資本の部	
科 目	金額 (円)	科 目	金額 (円)
<b>固定資産</b>	<b>681,500,303</b>	<b>固定負債</b>	<b>273,289,687</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>678,675,146</b>	企業債	214,975,500
土地	48,605,573	退職給付引当金	58,314,187
建物	24,682,048	修繕引当金	0
構築物	375,473,720	<b>流動負債</b>	<b>14,311,758</b>
機械及び装置	67,238,395	企業債	6,853,698
車両運搬具	17,625	未払金	7,300,700
工具器具及び備品	125,391	前受金	0
建設仮勘定	33,824,845	その他流動負債	157,360
工事勘定	128,707,549	<b>繰延収益</b>	<b>157,982,656</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>11,442</b>	長期前受金	1,565,926,779
<b>投資</b>	<b>2,813,715</b>	長期前受金収益化累計額	△ 1,407,944,123
出資金	2,813,715	<b>資本金</b>	<b>1,864,338,468</b>
長期貸付金	0	自己資本金	1,864,338,468
<b>流動資産</b>	<b>2,893,311,905</b>	<b>剰余金</b>	<b>1,264,889,639</b>
現金預金	2,824,698,963	<b>資本剰余金</b>	<b>522,646,585</b>
未収金	61,713,384	<b>利益剰余金</b>	<b>742,243,054</b>
貸倒引当金 (未収金)	0	減債積立金	0
有価証券	0	建設改良積立金	340,000,000
貯蔵品	2,410,258	当期末未処分利益剰余金	402,243,054
前払金	4,489,300	その他未処分	
短期貸付金	0	利益剰余金変動額	0
その他流動資産	0		
<b>計</b>	<b>3,574,812,208</b>	<b>計</b>	<b>3,574,812,208</b>

(注1) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。

## 令和元年度工業用水道事業の決算の状況

令和元年度末の給水事業所数は、前年度から2所増の53所で、1日当たりの契約水量は前年度に比べて168立方メートル(0.6%)増加し、2万6,257立方メートルとなりました。また、年間の配水量は473万3,823立方メートルで、前年度に比べ41万7,406立方メートル(8.1%)減少しています。

令和元年度の収入は、特別利益の増等により、前年度に比べて、2億4,889万円(53.1%)の増となりました。支出は、特別損失の皆増等により、前年度に比べて、11億3,455万円(301.6%)の増となりました。

この結果、令和元年度の決算は、給水収益などの収益的収入総額7億1,806万円に対し、給水収益などをもって充てる経費である収益的支出総額は15億1,078万円、差引き7億9,272万円の純損失となりました。また、令和元年度末の累積黒字(未処分利益剰余金)は3億4,544万円となりました。

資本的収支においては、建設改良費や企業債償還金等の資本的支出は、6,169万円となりました。この財源として、企業債の資本的収入870万円を賄い、なお不足する額5,299万円は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

## 令和2年度上半期下水道事業の業務の状況

### 1 事業の概況

#### (1) 業務量

区 分	令和2年度上半期	令和元年度上半期	前年比
処理区域面積 (ha)			
西宮処理区	3,109.76	3,109.76	100.0%
武庫川下流処理区	1,163.03	1,163.03	100.0%
武庫川上流処理区	550.93	550.91	100.0%
計	4,823.72	4,823.70	100.0%
処理水量 (m <sup>3</sup> )			
西宮処理区	31,869,020	29,546,280	107.9%
武庫川下流処理区	6,264,414	5,807,073	107.9%
武庫川上流処理区	1,194,852	1,319,458	90.6%
計	39,328,286	36,672,811	107.2%

注 武庫川下流、上流処理区の処理水量は、流域下水道への流入量とする。

#### (2) 建設

公共下水道整備費で施工している主な工事は、次のとおりです。

1. 公共下水道新設（合流貯留管整備その4）工事
2. 枝川浄化センター水処理機械設備改築工事
3. 櫛塚ポンプ場スクリーンかす設備No. 1雨水自動除塵機外改築工事

## 2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が51億4,105万円(下水道使用料、雨水処理負担金等)で、これに対する営業費用の53億6,686万円を差引くと2億2,581万円の営業損失となります。これに営業外収益(他会計補助金、長期前受金戻入等)、営業外費用(支払利息等)を加減すると13億3,614万円の経常利益となり、当期は13億3,614万円の純利益となります。

科目	令和2年度上半期	令和元年度上半期	前年比(%)
<b>1 営業収益</b>	<b>5,141,053,981</b>	<b>5,098,595,900</b>	<b>100.8</b>
(1)下水道使用料	2,885,296,284	2,893,283,766	99.7
(2)雨水処理負担金	2,026,420,000	1,990,102,000	101.8
(3)他会計負担金	209,691,000	195,940,000	107.0
(4)その他の営業収益	19,646,697	19,270,134	102.0
<b>2 営業費用</b>	<b>5,366,864,891</b>	<b>4,727,401,669</b>	<b>113.5</b>
(1)管渠費	88,161,190	88,880,821	99.2
(2)ポンプ場費	196,007,368	202,187,267	96.9
(3)処理場費	1,092,097,887	835,382,518	130.7
(4)流域下水道維持管理負担金	403,136,000	247,174,000	163.1
(5)業務費	73,648,882	70,665,664	104.2
(6)総係費	81,785,564	86,036,399	95.1
(7)減価償却費	3,255,378,000	3,058,095,500	106.5
(8)資産減耗費	176,650,000	138,979,500	127.1
<b>営業利益</b>	<b>△ 225,810,910</b>	<b>371,194,231</b>	<b>—</b>
<b>3 営業外収益</b>	<b>2,110,203,456</b>	<b>2,404,188,492</b>	<b>87.8</b>
(1)受取利息	764	739	103.4
(2)国庫補助金	0	0	—
(3)他会計補助金	667,155,000	1,071,556,000	62.3
(4)長期前受金戻入	1,432,124,000	1,263,230,500	113.4
(5)雑収益	10,923,692	69,401,253	15.7
<b>4 営業外費用</b>	<b>548,250,978</b>	<b>605,890,798</b>	<b>90.5</b>
(1)支払利息等	477,427,978	535,580,366	89.1
(2)消費税	40,000,000	45,000,000	88.9
(3)雑支出	0	41,432	皆減
(4)長期前払消費税額償却	30,823,000	25,269,000	122.0
<b>経常利益</b>	<b>1,336,141,568</b>	<b>2,169,491,925</b>	<b>61.6</b>
<b>5 特別利益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1)固定資産売却益	0	0	—
(2)過年度損益修正益	0	0	—
(3)その他特別利益	0	0	—
<b>6 特別損失</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1)固定資産譲渡損	0	0	—
(2)過年度損益修正損	0	0	—
(3)減損損失	0	0	—
<b>当期純利益</b>	<b>1,336,141,568</b>	<b>2,169,491,925</b>	<b>61.6</b>
<b>前期末未処分利益剰余金</b>	<b>2,385,537,675</b>	<b>2,003,217,229</b>	<b>119.1</b>
<b>利益剰余金処分額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>当期末未処分利益剰余金</b>	<b>3,721,679,243</b>	<b>4,172,709,154</b>	<b>89.2</b>

(注1) 長期前受金戻入、減価償却費、資産減耗費、消費税、長期前払消費税額償却は年間予算額の1/2である。

(注2) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。

当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

下水道事業貸借対照表

(令和2年9月30日現在)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
<b>固定資産</b>	<b>184,425,842,016</b>	<b>固定負債</b>	<b>53,170,256,542</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>179,590,769,543</b>	企業債	52,942,570,783
土地	32,347,586,477	退職給付引当金	138,472,251
建物	3,711,107,927	修繕引当金	89,213,508
構築物	117,528,946,994		
機械及び装置	20,314,196,934	<b>流動負債</b>	<b>3,104,548,399</b>
車両運搬具	5,941,562	企業債	2,893,415,998
工具器具及び備品	16,245,169	未払金	200,776,644
建設仮勘定	4,838,000,102	前受金	2,990,000
工事勘定	828,744,378	賞与引当金	0
<b>無形固定資産</b>	<b>3,294,843,979</b>	一時借入金	0
<b>投資</b>	<b>1,540,228,494</b>	その他流動負債	7,365,757
長期前払消費税	1,165,995,910		
出資金	5,089,500	<b>繰延収益</b>	<b>65,198,201,419</b>
長期貸付金	356,000	長期前受金	97,936,699,355
基金	368,787,084	長期前受金収益化累計額	△ 32,738,497,936
		<b>資本金</b>	<b>39,354,545,379</b>
<b>流動資産</b>	<b>3,297,247,547</b>	自己資本金	39,354,545,379
現金預金	1,305,710,092		
未収金	1,115,332,793	<b>剰余金</b>	<b>26,895,537,824</b>
有価証券	0	<b>資本剰余金</b>	<b>22,253,758,400</b>
前払金	876,204,662	<b>利益剰余金</b>	<b>4,641,779,424</b>
短期貸付金	0	当期末未処分利益	
前払費用	0	剰余金	3,721,679,243
その他流動資産	0	その他未処分	
		利益剰余金変動額	920,100,181
<b>計</b>	<b>187,723,089,563</b>	<b>計</b>	<b>187,723,089,563</b>

(注1) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。



## 令和元年度下水道事業の決算の状況

令和元年度末の処理区域内人口は、48万6,543人で、前年度より63人（0.0%）増加しています。また、処理区域内戸数は23万5,998戸で、前年度より1,831戸（0.8%）減少しました。

年間の処理水量は7,101万8,480立方メートルとなり、前年度より283万1,202立方メートル（3.8%）減少しました。

令和元年度の収入は下水道使用料で減となりましたが、特別利益等の増により、前年度に比べて7,843万円の増となりました。支出は減価償却費等で増となりましたが、企業債支払利息等の減により、前年度に比べて、9,433万円の減となりました。

この結果、令和元年度の決算は下水道使用料などの収益的収入総額121億44万円に対し、下水道使用料収入などをもって充てる経費である収益的支出総額は107億9,802万円で、差引き13億242万円の純利益となりました。また、令和元年度末の累積黒字（未処分利益剰余金）は33億564万円となりました。

資本的収支においては、建設改良費、企業債償還金等の資本的支出が134億2,663万円で、この財源として企業債、国庫補助金、一般会計からの補助金等の資本的収入88億6,884万円を充当し、なお不足する額45億5,779万円は損益勘定留保資金等で補てんしました。